

平成30年度 総合問題 (第一部 商経学科) 解答例

問1 (30点)

【採点のポイント】

- ・150字程度で述べていること。
- ・Uber というサービスの概要が正しく理解できていること。

【解答例】

Uber とは、ハイヤー・タクシーの即時手配サービスのことである。スマートフォンのアプリに行き先を入力すれば、タクシーを呼ぶことができる。車の到着時間や料金の目安もあらかじめ分かる。支払いはクレジットカードで行われる。言葉の通じない外国においても簡単にタクシーが利用できる。これまでとは異なる仕組みである。(151字)

問2 (40点)

【採点のポイント】

- ・「合理的な仕組み」の意味を理解していること。
- ・適切な表現で書かれていること。
- ・主張が明確で、その理由に説得力があること。

【解答例】

Uber は変動料金制を導入しており、劇場、プロ野球の試合の終了時などタクシーに対する需要が急増する時間帯と場所で料金を引き上げることができる。タクシー側にとっては、高い料金で効率的に利益を拡大することができる。消費者側にとっては、高い料金でもタクシーを利用したい人のみが利用するので、待ち時間も減り効率的に利用できるからである。

問3 (50点)

【採点のポイント】

- ・400字程度で述べていること。
- ・対立する見方の双方に言及していること。
- ・自分の考えを明確に述べていること。

【解答例】

レイティングは、消費者と供給者双方に利益をもたらす仕組みであると私は考える。それは第一に、商品（モノやサービス）を購入する際の判断材料として役立つ。欲しい商品について必ずしも十分な情報がないとき、実際に利用した人からの情報があれば、供給者の提供する情報を相対化することができる。第二に、供給者にとっても、レイティングがあれば商品や接客の質向上が評価され、売上増につながるかもしれない。そしてこのことは消費者の利益にもつながるだろう。しかし誰もが匿名で参加できるとなると、レイティング情報の信頼性は低くなる。悪意を持った嘘や、供給者による自作自演の賛美が書き込まれるかもしれない。その場合でも、不特定多数がレイティングに参加するほど、特定の意図の効果は弱められるだろう。したがって、少数の情報の信頼性には注意しつつ、参加者が増えるようにしていくことが、レイティングの仕組みをうまく機能させるカギである。

(400字)

問4 (20点)

【解答】 う

問5 (30点)

【解答】 We went home (by) taxi because (it) was (raining) heavily.

問6 (30点)

【採点のポイント】

- ・表の情報を用いて理由を示していること。

- ・示された理由に合理性が存在すること。

【解答例 1】

私が、タクシーを選択する場合、両方のタクシーに乗った評価者の評価を参考にすると思う。どちらか一方だけの評価では、実際にどちらが良いかは分からないからである。A と B の両方のタクシーを比較しているのは、評価者 1, 2, 3 の 3 名のみである。この 3 名の評価をみると、評価者 1 はタクシー 2 台に同じ点数をつけているが、評価者 2, 3 はタクシー B に高い点をつけている。多数決としてみた場合、3 名中 2 名がタクシー B を支持していることがわかる。したがって、ある人物はタクシー B を選んだと考えられる。

【解答例 2】

私が、タクシーを選択する場合、両方のタクシーに乗った評価者の評価を参考にすると思う。どちらか一方だけの評価では、実際にどちらが良いかは分からないからである。A と B の両方のタクシーを比較しているのは、評価者 1, 2, 3 の 3 名のみである。この 3 名の平均値を見ると、A の方が 3.3 で、B の方が 4.0 となり、タクシー B の評価の方が高い。このことから、ある人物はタクシー B を選んだと考えられる。

【解答例 3】

誰でも評価できるシステムの場合、実際にどのような人がどのような意図で評価しているか分からない。自分で高い点数をつける人もいるだろうし、相手をおとしめるためにわざと低い点数をつけることが考えられる。私がこうしたシステムを利用する場合には、こうした極端な評価に振り回されたくない。そこで、両タクシーの評価から、それぞれの最高点と最低点の一人分を除外して平均値を求めた。具体的には、タクシー A からは最高点の 5 点（評価者 4）と最低点の 3 点（評価者 1）を、タクシー B からも同じように 5 点（評価者 2）と 1 点（評価者 6）を除外して平均値を求めた。その結果、タクシー A と B の平均値はそれぞれ、3.3 と 3.7 となりタクシー B の評価が高い。以上のことから、ある人物はタクシー B を選んだと考えられる。

【解答例 4】

誰でも均質で一般的なサービスを求めているとは限らない。一見変わっていると評価されるものや、普通ではないと思われていることを、あえて経験したいという人も存在する。そうした人々にとって、普通を意味する 3 点が多いタクシー A は魅力のないものとして評価されるはずである。一方、タクシー B は 3 点が少なく、点数のばらつきも最低点の 1 点から最高点の 5 点まで多様である。一般的なタクシーにはない特別な何かがあると推測され、その特別な何か

についての評価が、利用者の好みによってかなり異なっていると思われる。ある人物は、普通とは異なった経験をしたいと思い、タクシーBを選択したと考えられる。